

様式第3号（第13条関係）

会議録

会議の名称	朝霞市立朝霞第六小学校第3回学校運営協議会	
開催日時	令和6年 9月5日(木) 午前 9時00分から 午前 10時30分まで	
開催場所	朝霞市立朝霞第六小学校 校長室	
出席者及び欠席者の職・氏名	学校運営委員6名、事務局2名（教頭1名、主幹教諭）	
議題	1 開会のことば 2 学校運営協議会 委員長挨拶 3 学校長挨拶 4 協議 （1）学校の現状と今後の課題について （2）学校評価アンケートの周知について （3）その他 5 閉会の言葉	
会議資料	・会議次第	
会議録の作成方針	<input type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした全文記録	
	<input type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした要点記録	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要点記録	
	<input type="checkbox"/> 電磁的記録での保管（保存年限 年）	
	電磁的記録から文書に書き起こした場合の当該電磁的記録の保存期間	<input type="checkbox"/> 会議録の確認後消去 <input type="checkbox"/> 会議録の確認後 か月
	会議録の確認方法 委員長による確認	
傍聴者の数	傍聴者 0人	
その他の必要事項		

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

1 開会のことば（教頭）

2 学校運営協議会 委員長挨拶

委員長：学校運営協議会 3 回目、本年度は猛暑でにんじんが打撃。ゲリラ豪雨でも被害。これからの自然との付き合い方が大切。2 学期もゲストティーチャーをお呼びして学びを推進している。本日もよろしくお願ひいたします。

3 学校長挨拶（議題 1 （1）学校の現状と今後の課題についてを含む）

校長：エレベーター工事中。東洋大学の学生が主に手運びで運んでいる。非常に積極的に仕事をしている。

委員：9 小もエレベーター工事中。

委員：昔は 1F から自分たちで運んでいた。

校長：今の時代では安全面からなかなか難しい。

学びは『三方よし』を実現したい。共栄大学小川教授等様々な方をお呼びして研究を進めている。幼少保連携を推進。本校教員が夏季休業中に保育園に出張。様々な学びをしている。

1 年→漢字の学習に iPad を活用。ゲーム感覚で興味関心が高い。

彩夏祭今年度も参加。教員が先頭に立って地域と連携。トラック協会の方や、なるこの方との交流。

6 年→6 - 3 総合でよさこいを探究。地域の浮世絵師、市役所の方とも連携。体育館で自発的にお祭りを企画。教室に探求のサイクルを掲示。

4 年→黒目川について探求。教員がいろいろ素材を提示。今日も関係者をお呼びして学習している。

3 年→地域の人と交流。よさこいとも交流。運営協議会と連携して 11 / 16 ふれあい事業をさらに活発にしていきたい。

残業の時間を減らしていきたい。教員に必要な力をつけていく。①指導②生徒指導③折衝力④組織運営力⑤ICT。オンラインの授業参観を今後挑戦させたい。

放課後の時間の使い方。会議・行事を減らして教材研究の時間を増やしたい。

委員：子供のキーボードが使えない。どのようにしていくか。

教頭：以前は修理依頼・レンタル。現在は貸せるものがない状況。現行ではカバーとして使用し、キーボードは画面タッチで代用。

校長：bluetooth のキーボードの使用も検討。

委員：教員が彩夏祭に積極的に参加しているのが印象的だった。

委員：前年度参加した子供たちが今年の子たちに教えているサイクルがとてもよかった。

校長：マルエツと連携してよさこいをしてみたい。

教頭：昨年度は鳴子を各方面からレンタル。今年からは徐々に買い揃えていきたい。運営協議会にも協力をお願いしたい。

委員：よいのではないか。

4 協議

(1) 学校の現状と今後の課題について
上記挨拶の中で説明。

(2) 学校評価アンケートの周知について

主幹：今後の学校評価についての説明

2月の学校運営協議会に評価書をお持ちいただきたい。

評価項目を一部変更させていただいた。

評価の視点、場を載せるようにした。

児童・家庭・学校運営協議会のアンケート

委員：学校によって内容は違うのか？

主幹：学校独自で作成している。

委員：学校評価をどのように活用しているのか？

校長：校長の学校経営に活かしている。

委員：tetoruは全家庭で登録しているのか。

教頭：全家庭には入ってはいない。

委員：学校間での横のつながりはあるのか。

校長：校長会・教頭会等では情報共有している。

委員：縦のつながりは？小学校の活動が中学、高校につながることは難しいのか？

校長：つながりはあるが、一つの活動をつなげていくのは難しい。

委員：何のために学校に行くのか。学校の必要性を発信していくべき。

校長：少なくとも保育園、幼稚園とはつながっていく。

委員：先生方のモチベーションはいかがか。

教頭：高いほうだと思う。

委員：ICTの活用によって不登校児童も学習の保証ができる。

委員：親も葛藤している。

校長：これからの教育とは（動画視聴）

(3) その他

主幹：今後の学校行事等の予定について

5 閉会のことば